

---

## 編集後記

大阪国際工科専門職大学の紀要「ダイナミック・クリエイティブ・ナレッジ」の第1巻が発刊になります。

創刊号の編集には苦勞させられます。その形式や編集プロセスをイチから作り上げる必要があるためです。特に本誌は、理系・文系の研究者が所属するいわば学際型の教育研究機関の紀要であるため、例えば原稿形式の統一でさえ容易ではありませんでした。仮に多くの教員に関連する研究分野のフォーマットを参照して形式を策定したとしても、結局のところそれと全く別個の分野の研究成果を表現する上では、様々な問題が生じます。例えば、情報学の多くの研究者からすると、脚注というのはあまりに古臭いスタイルに感じられるかもしれません。しかし、それは人文学の研究者からすると、あって然るべき表現方法として認識されています。各研究分野で知識の表現に求められる形式や仕様はそれぞれ歴史のかつ文脈的に積み上げられてきたものなので、違っていても当然のことではあります。ともあれ、これまで豊富な研究活動や学術誌編集のご経験をお持ちの編集委員の先生の皆様との闊達な議論を通じて、まだ課題は多いもののなんとかかたちにすることができました。なにより、事前には原稿が集まるのか心配していましたが、結果的には多くの原稿が集まったことは大変うれしいことでした。

さて、本巻の特集テーマは「実践報告：専門職教育」です。とはいえ、これは原稿募集の際に設定したものではなく、集まった原稿から導き出されたテーマです。専門職大学という新しい制度のもと開学した本学では、「専門職教育」というもののあり方について日々議論が取り交わされ、様々な思考錯誤が進められており、この特集ではそのような新しい取り組みの一端とその成果が記されています。そして、このようなテーマの偏りは、新しい学術的シーンの隆盛を想起させます。今後、さらなる展開や高度化が期待される専門職大学という制度や、それに関連する様々な教育の現場に身を置く人々にとって、専門職教育は間違いなく不可欠な論点となるはずであり、本誌の議論がそのようなシーン形成の一助となることを期待します。

鮮やかでインパクトのある表紙のイラストは今村孝矢先生にご作成いただきました。本学特有の新規性・エネルギー・柔軟性などを見事に体現いただけたのではないかと思います。改めて感謝申し上げます。

福田 一史（大阪国際工科専門職大学）